

# 2026年3月期 第2四半期 決算短信補足資料

2025/11/13

---

オカダアイヨン株式会社（東証プライム 6294）

---

# 01

## 業績サマリー (26/3期2Q)

売上高

12,890百万円 (前年同期比▲1.4%)

営業利益

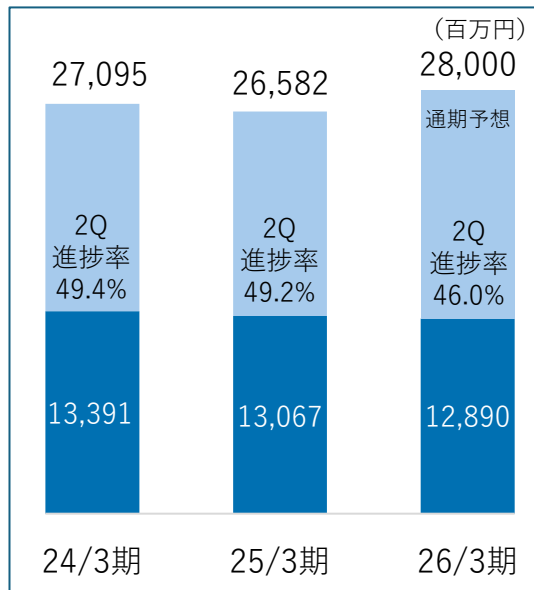
1,250百万円 (前年同期比 7.4%)

経常利益

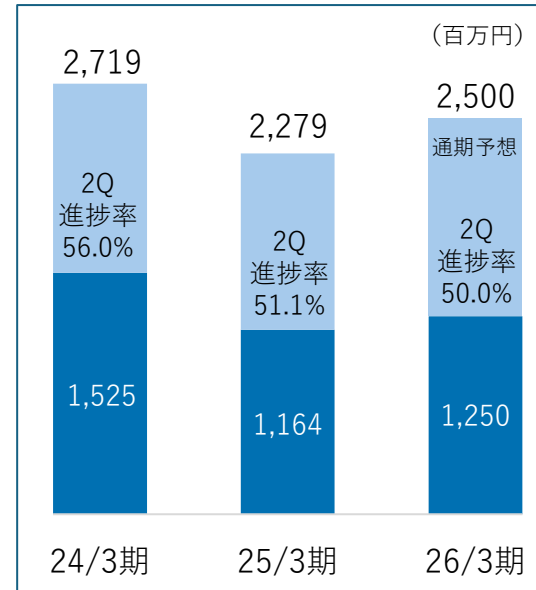
1,253百万円 (前年同期比 13.7%)

当期純利益

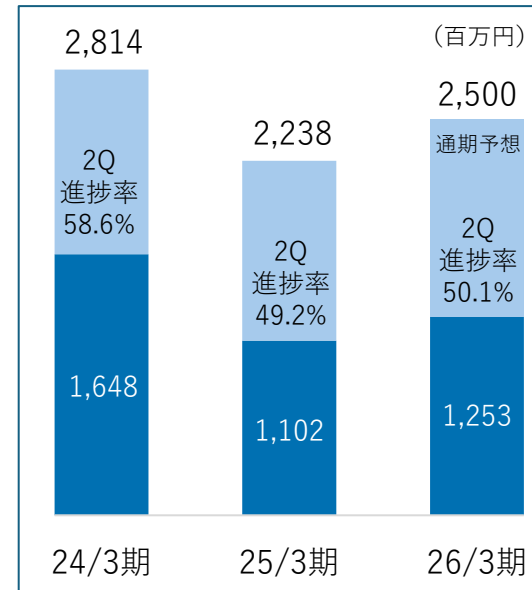
849百万円 (前年同期比 16.2%)



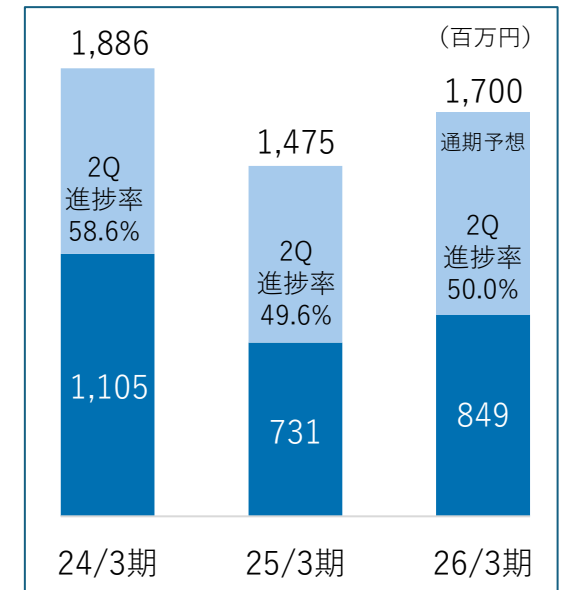
【売上高】



【営業利益】



【経常利益】



【当期純利益】

# 02

## 業績（26/3期2Q）及び通期予想

- 前年同期比減収ながら、価格改定とコスト削減が寄与し、営業利益、経常利益、純利益とも増益。  
尚、通期見通しは変更していません。

（百万円）

	25/3期 2Q実績	26/3期 2Q実績	前年同期比		26/3期 通期予想	進捗率（％）
			増減（額）	増減（％）		
売上高	13,067	12,890	▲176	▲1.4	28,000	46.0
売上総利益	3,866	3,971	105	2.7	—	—
販売費及び一般管理費	2,701	2,721	19	0.7	—	—
営業利益	1,164	1,250	85	7.4	2,500	50.0
経常利益	1,102	1,253	150	13.7	2,500	50.1
四半期純利益（当社株主帰属）	731	849	118	16.2	1,700	50.0

為替平均使用レート

ドル： 153円  
ユーロ：166円

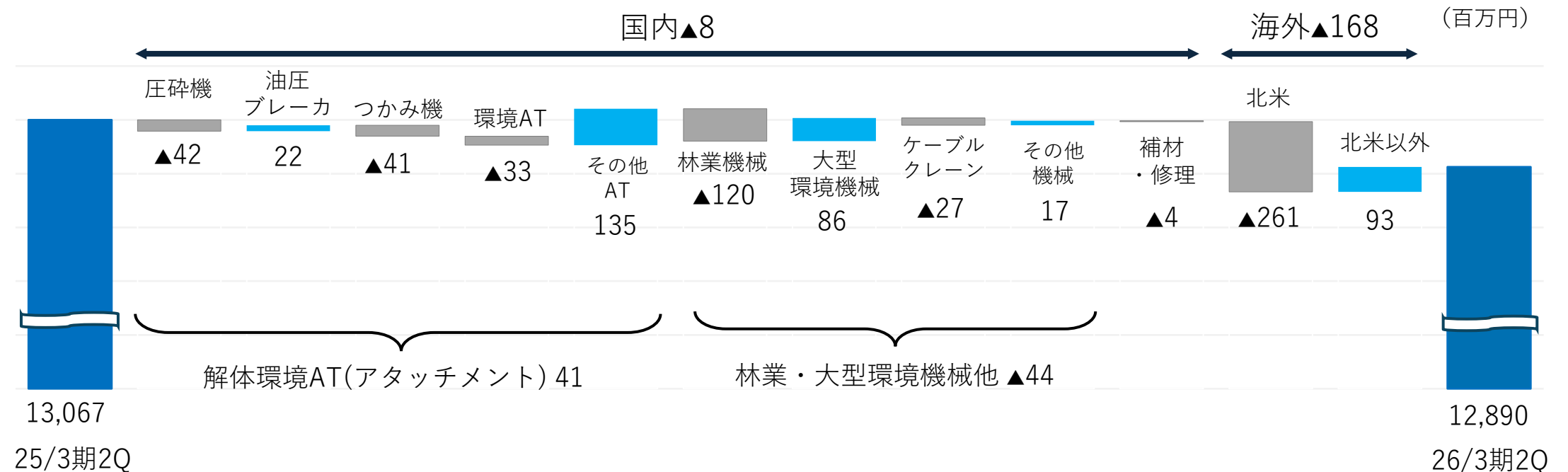
ドル： 146円  
ユーロ：166円

※26/3期の為替想定レートは、ドル：145円、ユーロ155円。

## 02

# 売上高増減要因（26/3期2Q）

- 主力の圧碎機は、解体需要が引き続き堅調であるものの、工事現場の工期遅れ等による納期ズレやショベルの販売不振、また万博開催中の解体工事見合せ影響等があり減収。つかみ機や林業機械は、需要軟調により減収。ケーブルクレーンは、受注順調も工期の関係で減収。大型環境機械は、入れ替え促進活動が功奏し増収。アフタービジネスは、修理増収も補材減収が響き減収。
- 海外は、主力の北米で在庫調整による買い控えが回復傾向にあるものの、オカダミッドウエストでの販売減が響き減収。欧州・アジアでは、一部商品の販売が伸びるなどしていずれも増収。

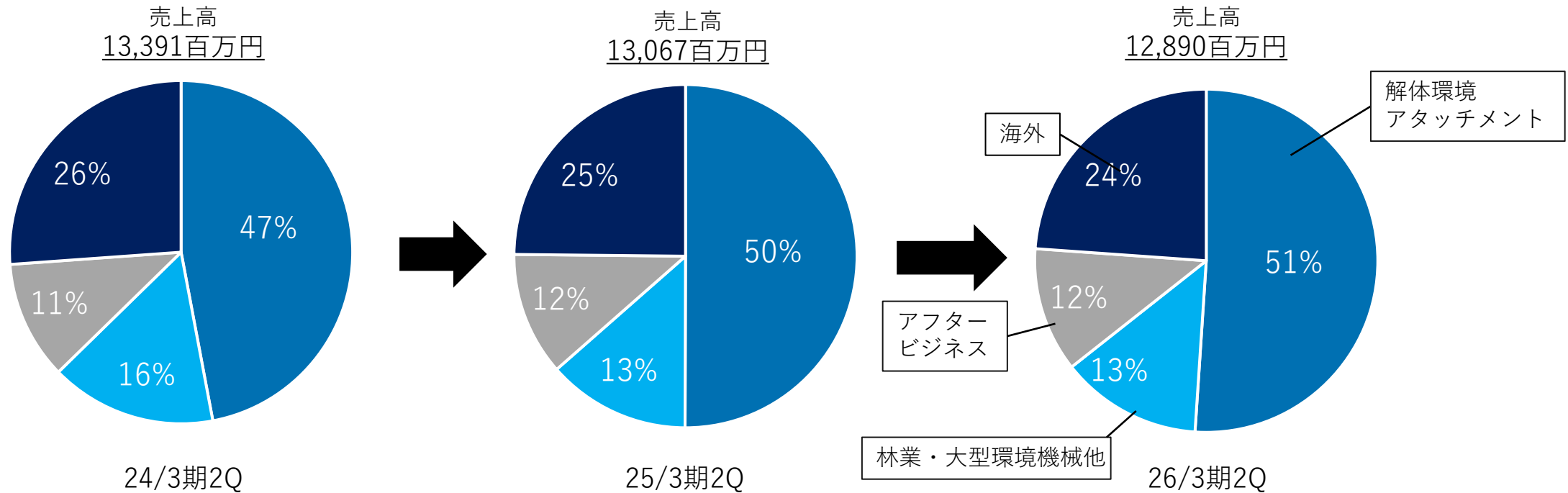


## 02

# セグメント・事業別 売上比率推移 (26/3期2Q)

● 特に北米での減収により、前年同期比で海外の比率が低下。解体環境アタッチメントは、増収により比率増加。

※各セグメント明細は P6 機種別売上推移参照



# 02

## 機種別売上推移（26/3期2Q）

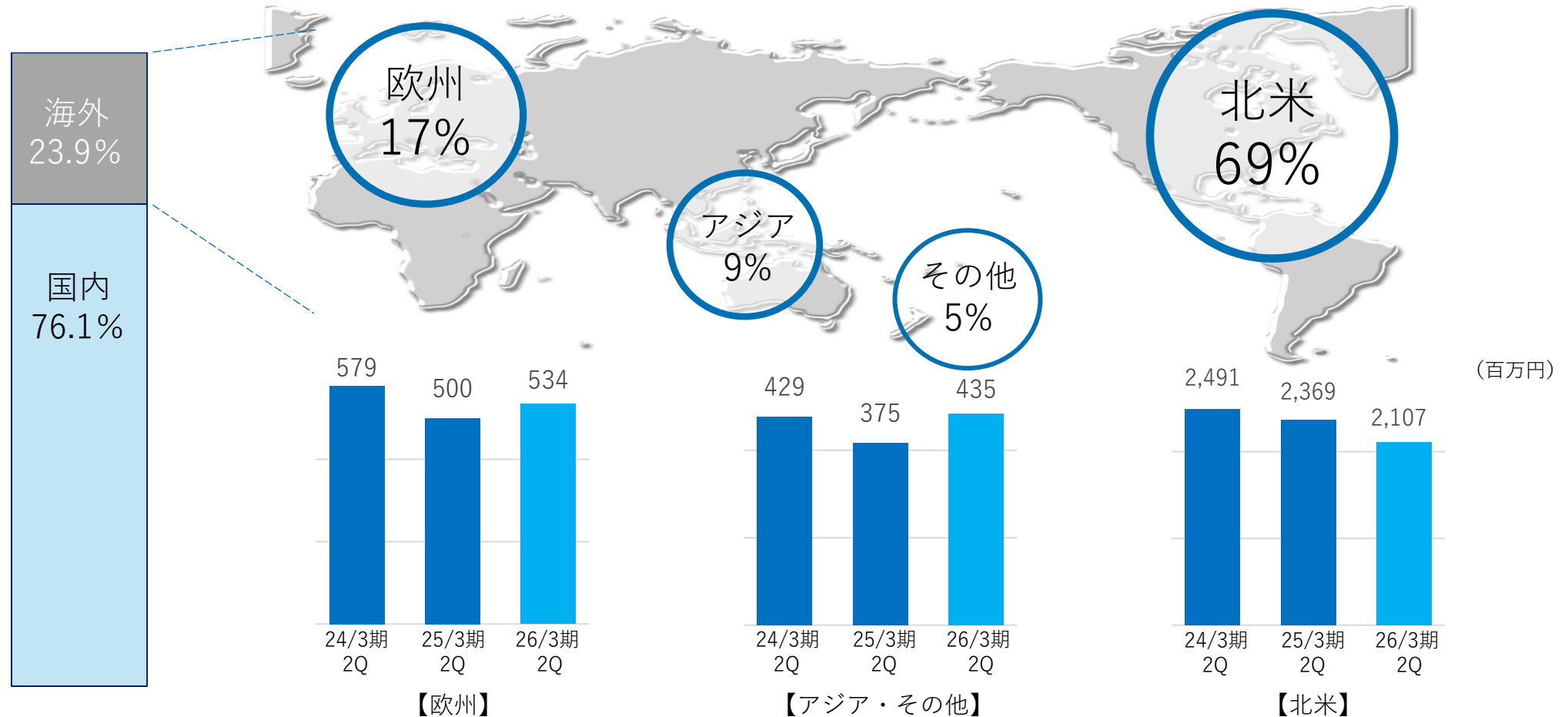
（百万円）

			24/3期 2Q	25/3期 2Q	26/3期 2Q	前年同期比		前々年同期比
						金額	増減（%）	増減（%）
国内	解体環境 アタッチメント	圧碎機	4,142	4,648	4,605	▲ 42	▲ 0.9	11.2
		油圧ブレーカ	442	421	444	22	5.4	0.4
		つかみ機	712	701	659	▲ 41	▲ 5.9	▲ 7.4
		環境アタッチメント	315	279	246	▲ 33	▲ 11.9	▲ 21.7
		その他アタッチメント	686	487	622	135	27.8	▲ 9.3
		計	6,298	6,538	6,579	41	0.6	4.5
	環境機械・大型 その他	林業機械	882	878	757	▲ 120	▲ 13.8	▲ 14.1
		大型環境機械	230	256	343	86	33.7	49.0
		ケーブルクレーン	773	567	540	▲ 27	▲ 4.8	▲ 30.2
		その他機械	209	59	76	17	28.7	▲ 63.4
		計	2,096	1,762	1,717	▲ 44	▲ 2.5	▲ 18.1
	ジタア ネーフ スピ	補材	991	980	942	▲ 37	▲ 3.9	▲ 4.9
		修理	505	539	573	33	6.2	13.4
		計	1,496	1,520	1,515	▲ 4	▲ 0.3	1.3
国内セグメント計			9,891	9,821	9,813	▲ 8	▲ 0.1	▲ 0.8
海外	米国地域		2,491	2,369	2,107	▲ 261	▲ 11.1	▲ 15.4
	欧州地域		579	500	534	33	6.6	▲ 7.8
	アジア地域（中国含まず）		291	270	289	18	6.9	▲ 0.8
	その他		138	105	146	41	39.7	6.2
海外セグメント計			3,500	3,245	3,077	▲ 168	▲ 5.2	▲ 12.1
連結計			13,391	13,067	12,890	▲ 176	▲ 1.4	▲ 3.7

# 02

## 海外 地域別売上構成（26/3期2Q）

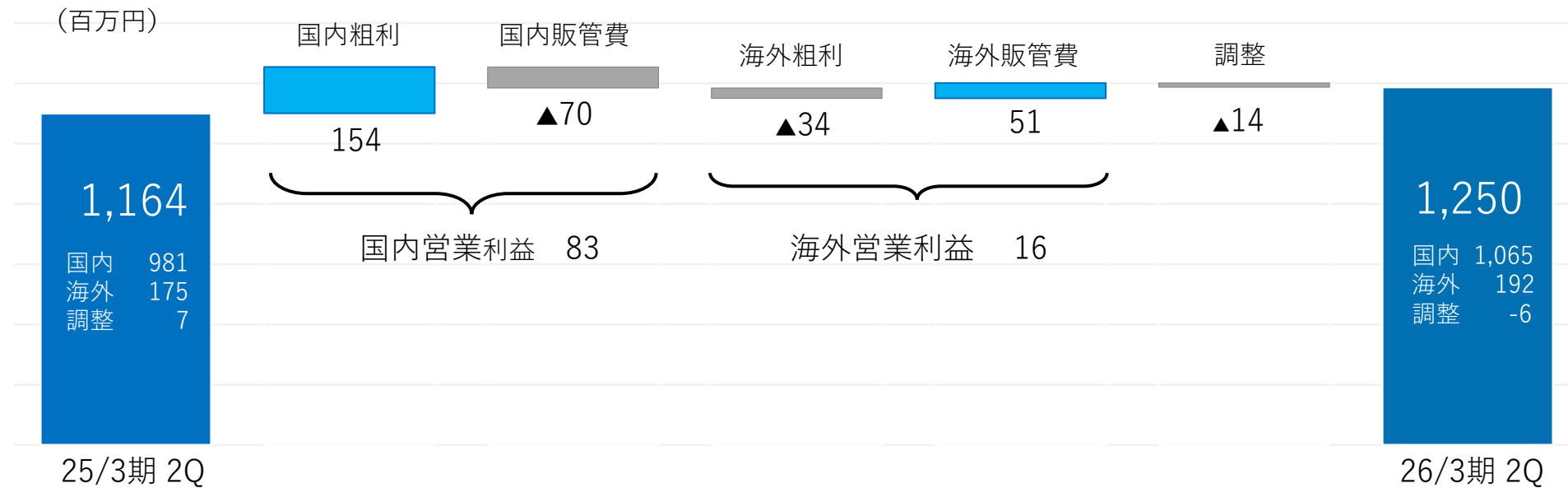
- 欧州、アジアとも前年同期比増収。北米では、買い控えが回復傾向にあるものの、オカダミッドウエストでの販売減が響き減収。



## 02

# 営業利益増減（26/3期2Q）

- 国内は、原材料価格の上昇に応じた販売価格の値上げや、好採算商製品の販売寄与により増益。
- 海外は、特に北米・オカダアメリカでの増収効果や経費見直し等により増益。

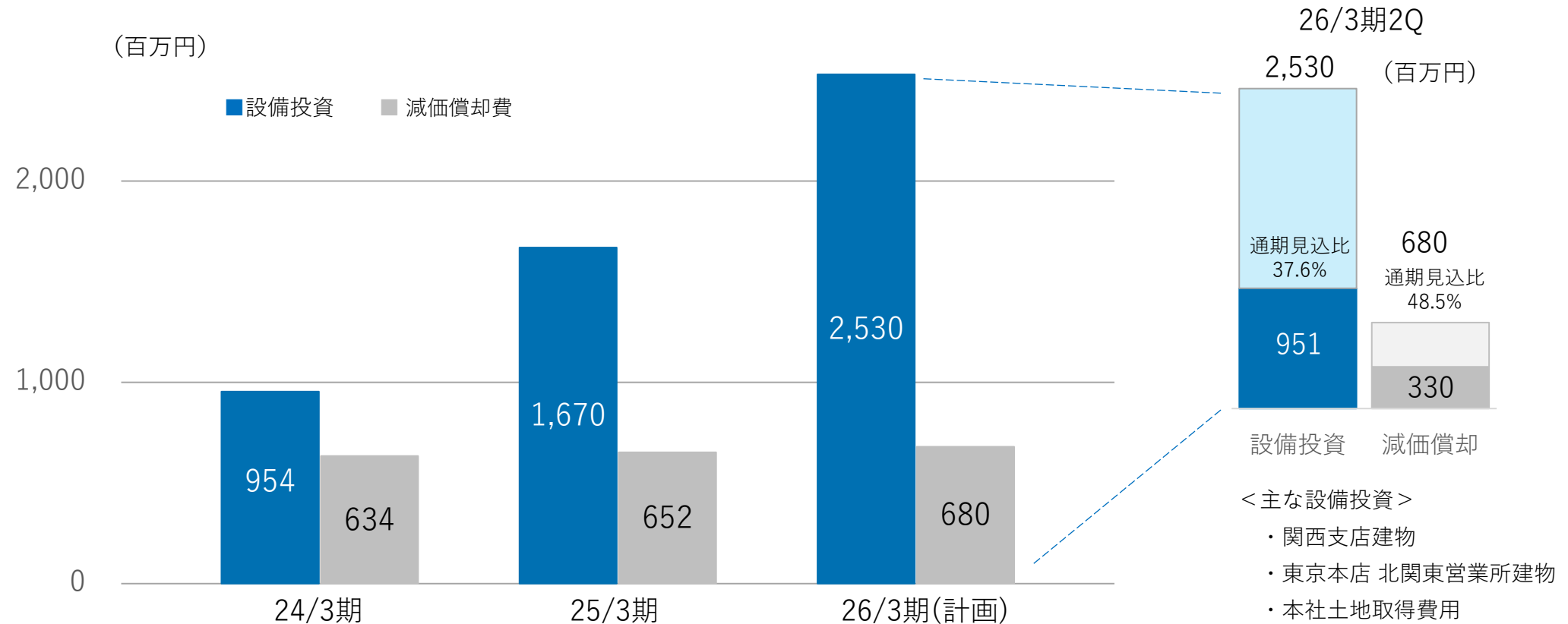




## 02

# 設備投資・減価償却費計画

- 今後も中長期的に需要増が見込まれる都心部の店舗拡張に注力しており、今期は、関西支店の移転建物費用、東京本店 北関東営業所の新設建物費用、および本社土地取得費用を計上している。

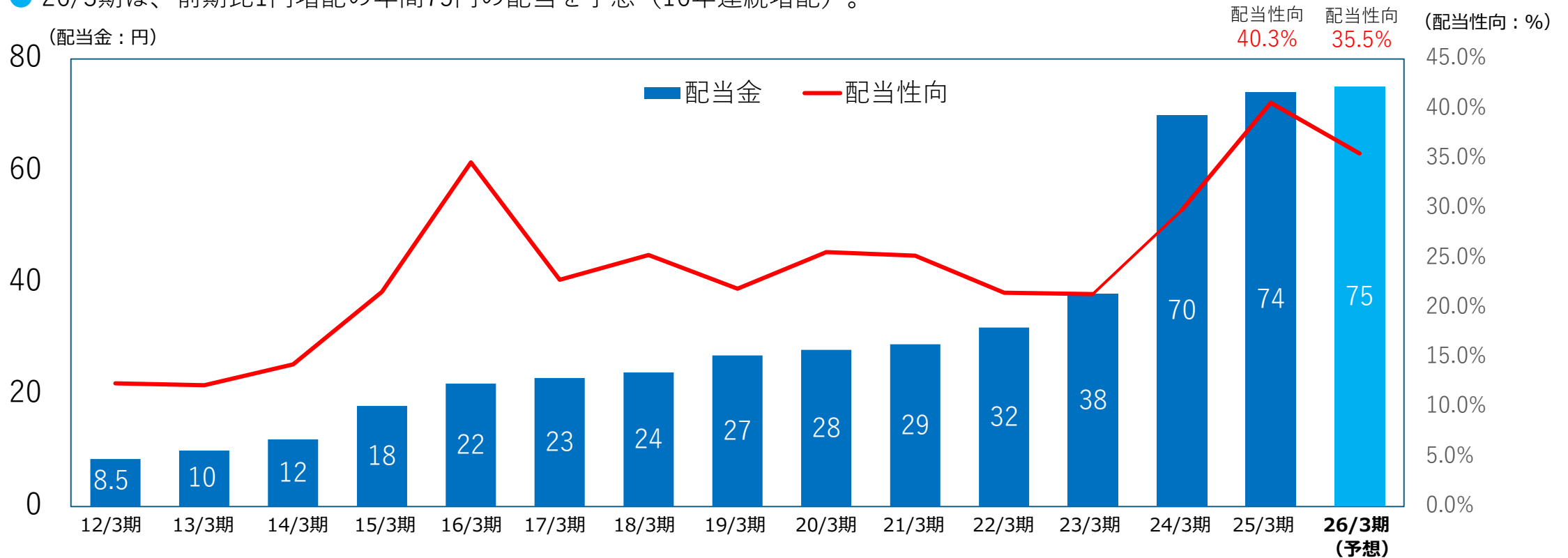


# 03

## 株主還元：配当実績と計画

配当方針：事業安定成長のもと、①累進的配当 ②配当性向30%以上 を目標とする。

- 25/3期は、前期比4円増配の年間74円の配当を実施。
- 26/3期は、前期比1円増配の年間75円の配当を予想（16年連続増配）。

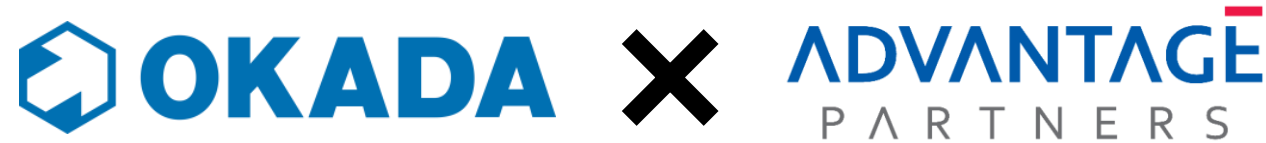


# 04

## 事業提携及び資金調達について

**企業価値向上の実現に向け、成長戦略を加速させるため**

(株)アドバンテッジパートナーズ(AP社)と事業提携のうえ、資金調達を実施



- ・ AP社が運用するファンドに対し、第5回新株予約権及び第1回無担保転換社債型新株予約権付社債を第三者割当により割当予定。
- ・ 事業提携開始は2025年12月10日（予定）。
- ・ 提携では、①全社QCDの更なる強化、②グローバル化（北米、欧州等）、③メンテナンス・修理等強化によるソリューション提供、を当社の取り組むべき事業戦略方針と定め、経営支援を受け、グローバルメーカーとしての地位確立や高付加価値化といった強固なビジネスモデル構築を目指す。
- ・ 新株予約権は、原則2025年12月11日～2026年6月10日まで行使不可（一定事由発生時は例外的に行使可能）。
- ・ 2026年3月期業績への影響は軽微。

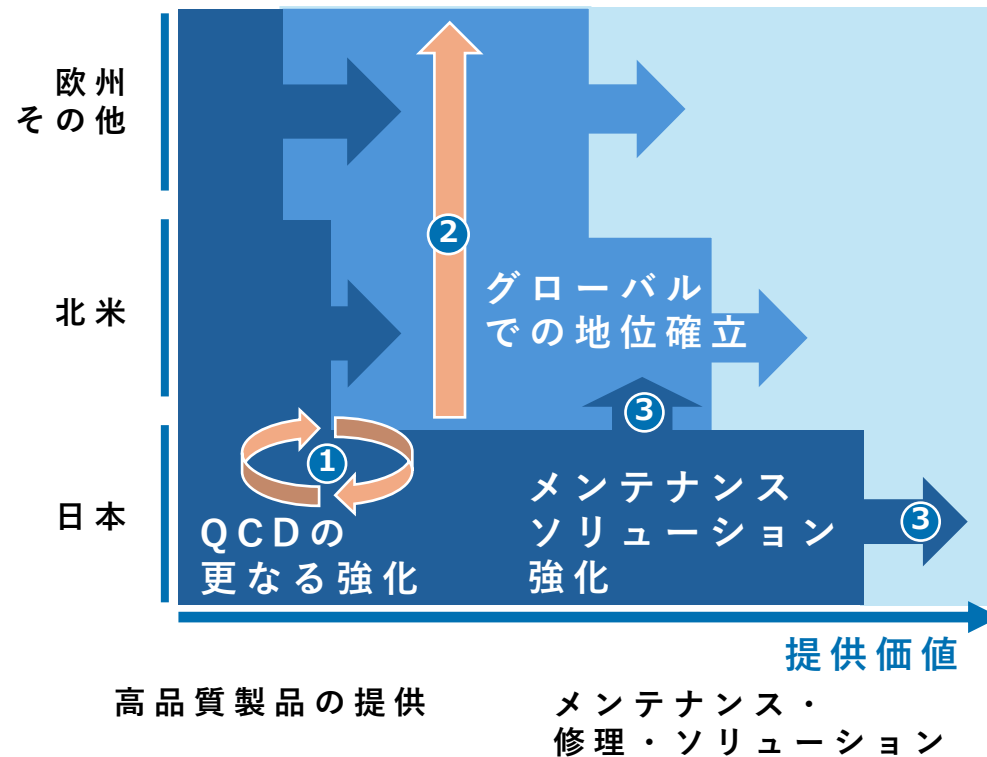
※本件の詳細につきましては、2025年11月13日付適時開示「事業提携に関するお知らせ」、「第三者割当により発行される第5回新株予約権及び第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の募集に関するお知らせ」及び「（補足資料）企業価値向上に向けた事業提携及び資金調達について」も併せてご参照ください。

# 04

## 当社の目指す事業戦略

国内におけるQCDの更なる強化、「グローバルメーカー」としての地位確立、メンテナンスソリューション等強化による顧客への生涯提供価値最大化、を実現する

### 地域と提供価値の展開イメージ



### 事業戦略の概要

#### ① QCDの更なる強化

- 管理手法の強化、グローバル調達拡大、生産委託先の拡大等

#### ② グローバルでの地位確立

- 北米営業強化とシェア拡大の実現、アフターサービス強化
- 欧州営業強化、ニーズが高い国を中心としたスケール拡大
- 同製品やバンドル販売可能な製品を有する企業等のM&A

#### ③ メンテナンスソリューション強化による顧客生涯価値の最大化

- 高い顧客満足度/シェアをより追求したサービスの提供
- デジタルを活用したニーズ/活動実態の把握と、修理代理店網の拡大/体制強化

本資料に掲載されている計画、見通しに関する内容については、  
当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に  
基づき判断した予想であり、リスクや不確定要素を含んでいます。  
従いまして、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約、あるいは  
保証するものではありません。



オカダアイヨン

お問い合わせ



オカダアイヨン株式会社  
IR・広報グループ



[soumu@aion.co.jp](mailto:soumu@aion.co.jp)



<https://okadaaion.com>